

～ひとに心 まちに風～  
いきいき生活・しあわせ実感都市 はむら



# はむらの 教育



平成19年度に向けて

教育長 角野征大

「豊かな心、みんな育てよう」  
～一点の中心を持つ円だけではなく、  
二点の焦点を持つ楕円も視野に入れ  
て～「複眼の発想」を大切にした  
「羽村の教育」を推進します

「体ほぐしは心ほぐしであり、人の  
間ほぐしである」と表現する人がい  
ます。「疲れが取れるとやさしい気  
持ちになれる」とも言われます。

今、人間の温もりを感じさせる行  
動、真の常識と心の通った教育が求  
められています。

羽村の教育の推進には、新幹線の  
スピードだけではなく、鈍行列車の  
役割も大切です。道草は、子どもた  
ちの人生という旅路を広く探し求め  
ることであるともいえます。そして、  
遠回りや挫折を経験することで、子  
どもたちは、人の痛みがわかる人間  
として成長していきます。羽村で育  
つ子どもたちに、羽村の未来を担う  
青少年に、温かいエールを送りつづ  
ける19年度であることを願って諸教  
育施策に取り組んでまいります。

No.8

# 平成 19 年度 教育委員会主要事務事業

## 幼児教育

- ☆ 家庭教育セミナーの開催 200 千円
- ☆ 幼稚園・保育園・小学校連携推進懇談会の運営（子ども家庭部と連携し実施）

## 学校教育

児童・生徒の学習する意欲と生きる力をはぐくみ、たくましく心やさしい羽村市民へと成長することを願って、羽村の特色を生かした教育活動や学習環境の充実を図っていきます。

- ☆ 特色ある学校づくり交付金の交付 10,000 千円
- 学習サポーターの配置 6,897 千円
- コンピュータ機器等の整備（松林小・小作台小） 34,000 千円
- 特別支援教育の推進 12,389 千円
- ◎ 特別支援教育教室（通級指導学級）の増設 2,280 千円
- 教育相談体制の充実 26,045 千円
- 小・中一貫教育構想の検討 530 千円
- ◎ 羽村第三中学校防音機能復旧（機器取替）設計事業 10,207 千円
- 情報教育研修等教職員研修の充実

## 生涯学習

生涯学習を通じて、市民の豊かな心をはぐくみ、地域づくり・まちづくりを担う人材を育成するための学習環境を整備します。また、様々な学習ニーズに応えられる情報や学習プログラムを提供するとともに、学習成果をまちづくりに役立てる体制をつくります。

- ◎ 第3次生涯学習推進基本計画（後期）の策定 1,251 千円
- 市民との協働による市民講座の実施 3,604 千円
- 生涯学習活動に資する芸術鑑賞事業の実施 17,980 千円
- 文化協会の活動支援 800 千円
- ☆ 生涯学習センターゆとろぎ市民協働組織への助成 18,609 千円
- 図書館システムの充実 7,152 千円
- 子育て支援図書コーナーの充実 300 千円
- 夢チャレンジセミナーの実施 237 千円
- 地域教育シンポジウムの開催 65 千円
- 家庭教育セミナーの実施 200 千円

## スポーツ・歴史文化

- ◎ 健康運動シンポジウムの開催 80 千円
- 郷土博物館展示室映像機器等の充実 1,010 千円
- 総合型地域スポーツクラブの設立準備

◎：新規事業    ○：レベルアップ事業    ☆：重点施策推進事業

## 平成19年度 特色ある学校づくり

### 羽村東小学校 校長 齋藤 譲

#### 「サマーセカンドスクール」

地域、保護者、教職員が様々な講座を開設し、「基礎的な学習」「子どもたちが普段の授業で味わえない体験学習」などを通して、子どもたちの可能性を探り、自ら課題を解決しようとする子どもを育てます。

#### 「東小地域フェスティバル」

地域、家庭、学校三者が一体となって、「竹」をモチーフにした作品の製作（竹細工、楽器）を通して、子どもたちの創造力、技術力を培うとともに、地域の伝統的な技術に触れ、優れた技術を伝えていく大切さを学んでいきます。

### 羽村西小学校 校長 宇都宮 透

本校では、校内研究のテーマを「心と体の健康づくり」と定め、基本的な学習・生活習慣の形成と定着を目指します。これには、将来を見通した学力向上への原点があると考えているからです。『はやね・はやおき・あさごはん・あさうんち』をキャッチフレーズに、体育科を初めとする教科での学習、食育と関連づけた総合的な学習の時間、特別活動、日々の生活指導、家庭や地域との連携等、様々な手だてによって心身ともに健やかで意欲的な子どもを育成します。

### 富士見小学校 校長 島田 定

#### ①音楽教育の推進

高学年児童が全員金管楽器を演奏し、仲間と協力して演奏するなかで、共に活動する喜び、やり遂げる喜びを共有します。サマーコンサート、金管・ラストラストコンサートを「ゆとろぎ」で実施し、全員が参加します。

#### ②地域素材の教材化・国際理解教育

横田基地内にある横田西小との交流活動を5年生が中心に実施しています。また、玉川上水を実際に歩く活動を地域の方や保護者を交えて夏休みの期間に実施します。体験的な活動を通して、児童を育てていきます。

### 栄小学校 校長 水野 孝一

2学期制のよさを生かしながら、特色ある学校づくりを進めています。英語活動を年間で1・2年生は20時間、3～6年生では35時間実施しています。地域人材講師と※ALTの先生、そして学級担任が連携して授業を展開しています。この成果は平成20年2月1日に羽村市教育研究指定校発表会で発表します。その他にも青少年対策地区委員会の方をはじめ多くの保護者、地域の方と米作りをする農業体験活動、様々な分野の専門家とふれ合う「あこがれ・夢広場」、児童の安全確保のための「なかよしパトロール」等、事業を展開していきます。 ※ALT…外国語指導助手

### 松林小学校 校長 佐藤 美知子

「美しい学校の創設」として、これまで2年間取り組んできました。平成19年度は、その第3弾として、都立羽村高校、都立羽村養護学校、羽村市動物公園と連携・協力を行い、また、羽村市スイミングセンターとも今後、相談しながら、3校2施設があるこの地域の環境美化を計画しています。「時間ができたからちょっと散歩に行ってみようか」と保護者や地域の方々に言っていただけるような環境づくりを進めていきます。

## 小作台小学校 校長 曾我部 多美

子どもたちが生涯にわたって、健康で活力ある生活ができるよう、「豊かな心と健やかな体」をはぐくむための教育活動を行います。「日本の伝統・文化」のよさや深さを伝える学習や学校図書館を活用した読書活動、また、児童の参加による学校保健委員会、「食育」として小作台小学校農園の収穫物を使っての収穫祭、料理教室、食についての授業等も充実させます。

## 武蔵野小学校 校長 高見 徳

本校は「自分を大切に、友だちを大切に、一人ひとりを大切にする学校づくり」を進めていきます。その中心となるのが「人間力」を育てる「キャリア教育」です。全教育活動を通して、人間関係を築く力・意思を決定する力・情報を活用する力・将来を設計する力等を育て、自信を抱き、将来の役割を担える子どもを育てていきます。こうした教育活動を基に、羽村第三中学校との「小・中一貫教育校」について検討してまいります。

## 羽村第一中学校 校長 嘉陽 義明

基礎・基本の定着、広く学力の向上を図るために各教科で授業の工夫、改善に取り組んでいます。その一環として、数学科での少人数制授業や英数選択、学習補助員の導入等を行っています。また、落ち着いた環境で創造的な心をはぐくむ読書活動を推進し、図書室の環境整備、全校朝読書、外部講師による講演会等、積極的に実施しています。さらに、優しい心をはぐくむために生徒会を中心としたボランティア活動や、生徒を支援する教育相談体制の確立に努力してまいります。

## 羽村第二中学校 校長 須藤 芳正

### ①授業改善及び基礎・基本的な学力の定着

- 教師全員が研究授業に取り組み「わかる授業」を実践します。
- 2・3年の英語・数学に少人数指導を取り入れ、習熟度別授業を行います。
- 個別指導の充実を図るために、1年の英語・数学に学習補助員を導入します。

### ②キャリア教育の推進及び地域行事への積極的な参加

- 第2学年で5日間の職場体験学習を実施し「社会参画能力」を育成します。
- 3年生が地域の夏祭りに参加し、地域から学んだことを地域に生かします。

## 羽村第三中学校 校長 瀧島 薫

本校は、生徒の学力向上のための「基礎・基本の充実」を目指す指導法の改善に取り組めます。2学期制の趣旨をふまえ、授業時数の確保と「五日間の職場体験」など体験学習とのバランスをとりながら生徒に多くの生きる力をつけさせます。

学力面では、自分の努力が反映される「振り返りタイム」を活用して、学ぶ楽しさを味わうことができるようにします。

隣接校の武蔵野小学校と多くの連携を通して、「小・中一貫教育校」について検討してまいります。



## 平成19年度に小中学校全校で学校保健委員会が設立されます。

朝食の欠食や夜更かし、運動不足など子どもたちの生活習慣の乱れが指摘されているなかで、学校・家庭・地域社会が連携し、健康問題に取り組むための組織として、学校保健委員会が全校で設立されます。

すでに、設立している学校もありますが、児童・生徒の心と体の健全な成長のため、家庭での規則正しい生活習慣の確立や健康を心掛ける能力を養えるよう働きかけていきます。

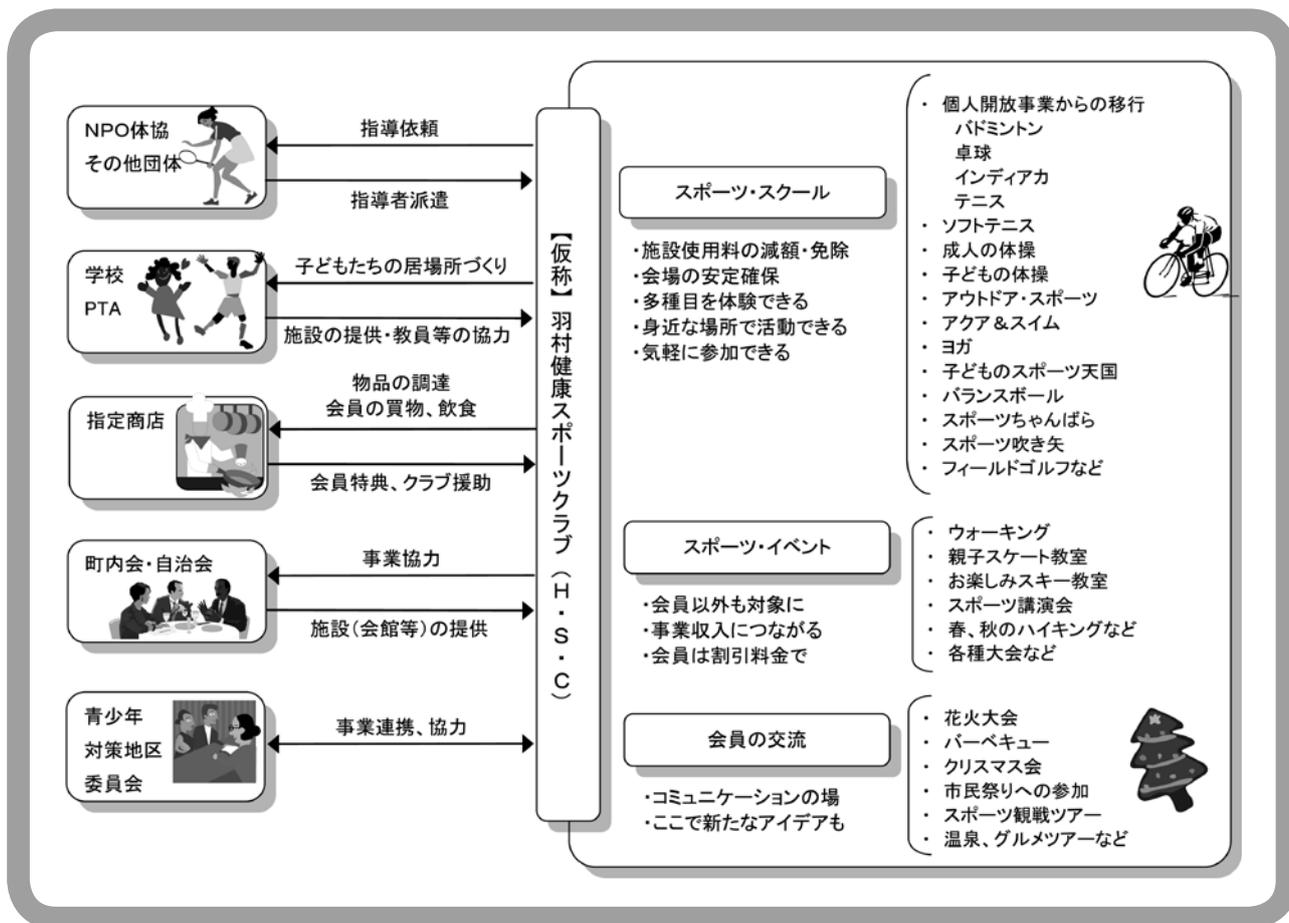
●問合せ 教育総務課

## 羽村市総合型地域スポーツクラブの設立準備を始めます

### 協力者を募集します!!

羽村市教育委員会と羽村市体育指導委員協議会では、平成20年度に市民がいつでも、手軽にスポーツ活動を楽しめ、また、市民自らが運営する「総合型地域スポーツクラブ」(子どもから高齢者までが、地域特性を生かした様々なスポーツ活動が楽しめる新しいタイプのスポーツクラブ)の設立に向けて準備を進めています。

### 【仮称】羽村健康スポーツクラブ(H・S・C)のイメージ図



運営等に協力していただける方を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

●問合せ スポーツセンター

## 「市内の文化財（東京都指定文化財）」

今回は、市内に所在する国指定文化財の紹介をしました。今回は、東京都指定文化財について紹介します。

東京都文化財保護条例に基づき指定されている東京都指定文化財は、東京都指定有形文化財「阿蘇神社本殿（附棟札9枚）」、郷土博物館に収蔵され、一部は常設展示室に展示されている東京都指定有形民俗文化財「武蔵野台地西部（羽村地域）の養蚕関係用具」、東京都指定史跡「まいまいず井戸」、東京都指定天然記念物「羽村橋のケヤキ」、同「阿蘇神社のシイ」のあわせて5件です。それぞれ羽村市のみならず東京都の歴史と文化を伝える貴重な文化財として、所有者・管理者によって保護・保存されています。

阿蘇神社本殿は、通常一般には公開されていませんが、その他の文化財はそれぞれ自由に見学できます。見学マナーを守って、羽村の歴史、東京の歴史にふれてみてはいかがでしょうか。

●問合せ 郷土博物館

## 図書館からのお願い

### ●延滞資料の早期返却をお願いします

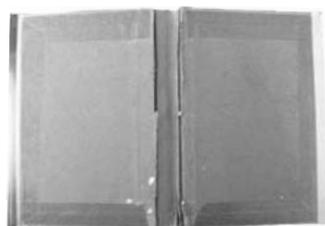
貸出資料の返却延滞者が多く、他の利用者に多大な迷惑がかかっています。当館からハガキや電話により返却の督促をしていますが、いっこうに返却延滞者が減りません。

今後、このような利用者には、新たな貸出や予約受付をお断りさせていただく場合がありますのでご注意ください。

全ての利用者が快く図書館を利用できるよう、貸出期限の厳守と延滞資料の早期返却のご協力をお願いします。

### ●図書館資料を大切に

最近、本や新聞への切抜きや書き込みが増えて大変困っています。図書館の資料は、皆さんの大切な財産です。気持ちよく利用していただけるよう皆さんのご協力をお願いします。



中身が抜き取られた本



バーコードが剥された本

平成19年度特別支援教育  
体制・副籍事業

個性を尊重し支えあう

ファースト・ステップ

世界中のすべての子どもたちは人種、性別、心情など障害のあるなしにかかわらず、個々のニーズに応じた教育を受ける権利があります。それが、特別支援教育の考え方の土台となっています。障害のある児童・生徒一人ひとりに対して、適切な教育や指導を通じて必要な支援を行う新しい教育体制「特別支援教育」のファースト・ステップ（第一歩）が始まります。

心の通い合う

交流に向けて

ノーマライゼーション社会実現のための一つの方策として、羽村市に居住する都立特別支援学校（在籍校）の小・中学部の児童・生徒全員が、原則として希望する地域の小・中学校（地域指定校）に副籍を置き、直接的な交流や間接的な交流を行います。

特別支援学校が保護者へ意思確認を行い、学校の実情を踏まえ羽村市教育委員会が行います。当該保護者が副籍を辞退された場合は、対象外となります。

児童・生徒の実態や希望、地域指定校の実情を踏まえて、在籍校と地域指定校が十分に協議し交流を行います。特別支援コーディネーター（在籍校の教員）がその中心となり、校内委員会で情報を共有します。

交流の内容としては、学校、学年などより等の交換、作品や手紙などの交換（間接的な交流）、授業、行事や部活動等への参加（直接的な交流）などが考えられます。学校だよりの交換は、市内全校で実施します。直接的な交流の際は、安全確保のため、保護者の付き添いを原則とします。

相談について

専門家の力を効果的に

生かす、体制づくり

心理の専門家である巡回教育相談員やスクールカウンセラーが、週1回各学校を巡回しています。巡回教育相談員に相談されること

で、より専門性を有する発達障害などにかかわる医師、特別支援教育の専門委員会等の相談につながります。

理解・啓発について

障害について

理解を深める

特別支援教育は、通常の学級においても、「何度注意されても、同じことを繰り返してしまう」「人とのコミュニケーションがとれない」「文字を書くことに苦労している」など、様々な支援を必要とするお子さんを理解することから始まります。保護者、教育関係者を対象に年3回程度の研修・講演会などを実施します。

また、特別支援コーディネーターに対して、本年度で2回目となる養成研修を行い、特別支援学校、学級での1日体験実習を行い、ぬくもりの伝わる研修を通して、障害のあるお子さん一人ひとりのふれあいの中で、教師の感性を磨きます。

問合せ 指導室

小・中学校の行事予定 4月～6月

詳しくは、各学校にお問合せください。

- 羽村東小学校  
5月26日(土)運動会  
※雨天時:27日(日)  
6月12日(火)～13日(水)学校公開
- 羽村西小学校  
5月12日(土)学校公開・金管バンド演奏会・PTA総会  
5月26日(土)運動会  
※雨天時:27日(日)  
6月17日(日)学校公開・親子サーフティ教室
- 富士見小学校  
5月25日(金)～26日(土)学校公開
- 栄小学校  
5月19日(土)運動会  
※雨天時:20日(日)  
5月25日(金)なかよし班花植え

- 6月10日(日)農業体験活動「田植え」  
※青少年対の主催事業。日程等については変更の場合あり。
- 松林小学校  
5月26日(土)運動会  
※雨天時:27日(日)  
6月26日(火)学校公開
- 小作台小学校  
5月26日(土)運動会  
※雨天時:29日(火)  
6月26日(火)学校公開
- 武蔵野小学校  
5月11日(金)学校公開・PTA総会  
5月26日(土)運動会  
※雨天時:27日(日)
- 羽村第一中学校  
6月2日(土)道徳地区公開授業

- 6月9日(土)体育大会  
※雨天時13日(水)
- 羽村第二中学校  
4月16日(月)～20日(金)公開授業週間  
5月12日(土)授業参観・PTA総会  
6月18日(月)～22日(金)公開授業週間
- 羽村第三中学校  
5月12日(土)学校公開・PTA総会

平成18年度教育委員会  
表彰受賞者(敬称略)

児童生徒表彰

(小学生)

寺嶋志優 青柳若奈  
相川 達 島崎怜菜  
島崎浩史郎 森田貴大  
高橋理有 細谷一央  
光武明梨 井上菜摘  
入山奈央 矢島実知  
居倉 龍 入山功大  
井上小夜子 居倉 萌  
上原敬矩 星野祐輝  
星野拓也  
羽村西小学校金管バンド部  
武蔵野小学校吹奏楽団

(中学生)

須田将平 柑子木稔  
萩田晃考 吉岡 匠  
小澤英男 萩田晃士  
川原夏美 茂木ゆりか  
小林 翼 八木卓海  
清水公太 青木一将  
石田光希 中野弘也  
清水太己 首藤拓郎  
関谷 翼 窪田麻里  
曹 恵美 島崎賢史郎  
羽村第一中学校吹奏楽部  
羽村第二中学校男子ソフトテニス部

羽村第三中学校野球部

(高校生)

清野花歩 正木祐太郎  
塚田 峻 清水麻衣  
田島和斗 笠原万倫子  
田村典子 兒玉 愛  
新井雅菜 田村 藍  
中村亜美 長沼有香里  
中根舞耶 茂木勇樹

教育功労者等表彰

鈴木浩之 川上剛史  
淵井 司 浅見 貞  
羽野義明 田村義明  
小山徳幸 小山絹代  
渡辺佳世子 増田幸夫  
並木恒延 渡部清孝  
藤田ひろみ  
羽村剣道玉心会  
はむら女声コーラス

教職員等表彰

橋本 研 鈴木まゆ子  
緒形まゆみ 土屋潤一郎  
水野美鈴 奥山 誠  
松永正史 島田武三

入学式

小学校 4月6日(金)  
中学校 4月9日(月)

INFORMATION

生涯学習センターゆとろぎ Tel.570-0707  
図書館 Tel.554-2280  
郷土博物館 Tel.558-2561  
スポーツセンター Tel.555-0033  
スイミングセンター Tel.579-3210  
弓道場 Tel.555-9255

羽村東小学校 Tel.554-5663  
羽村西小学校 Tel.554-2034  
富士見小学校 Tel.554-6449  
栄小学校 Tel.554-2024  
松林小学校 Tel.554-7800

小作台小学校 Tel.554-1431  
武蔵野小学校 Tel.555-6904  
羽村第一中学校 Tel.554-2012  
羽村第二中学校 Tel.554-2041  
羽村第三中学校 Tel.555-5131

教育随想

光の贈り物

多摩川の土手を歩き始めて、もう何年が経つのであろうか。その土手の向こうに川を隔てて草花丘陵が続く。あたりまえだが、厳冬のウォーキングには、それなりの覚悟も必要である。それでもめげずに歩くには理由があるからだ。

透き通った夕暮れには、格別の贈り物がある。暮れかかる山稜は、黒々と「黒駒のたてがみ」のようになり、その向こうの空は、炎のように燃える。それは見る見る変貌し、一、二度深呼吸をしている間に、あたりはすっぽりと闇に消えてしまう。その瞬時の興奮を誰かに話したい。でも話すことで刹那の記憶と感動を失ってしまうのではないか。そんなジレンマの中で私は勝手にとまどっている。太陽の明が暗を語り、暗は明を物語っている。そんな無量の光の技に出会いたいと今日もまた歩くのである。

教育委員 印南圭子

